

ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

TPS・劇団青羽共同制作公演
蟹と彼女と隣の日本人 当別公演

▼日時 6月15日(水) 19時～20時30分

▼内容 昨年3月に「春の夜想曲」当別公演を成功させた劇団TPSが、町民劇「石狩川」の脚本を手がけた斉藤歩氏の新作を当別で公演します。

▼入場料 大人2,000円 中学生以下1,000円

▼チケット取扱所 ふれあい倉庫

▼主催・問合せ 武田 (☎ 23 - 2073)

ドレクスキップ ミッドサマーコンサート

▼日時 6月18日(土) 開場18時30分 開演19時

▼内容 夏至祭の前夜祭のコンサートを開催。ニッケルハルパ等の楽器を用いたバンド「ドレクスキップ」が京都より来町し、北欧音楽を奏でます。

▼入場料 前売り：一般1,500円、大学生以下800円
当日：一般2,000円、大学生以下1,000円

▼チケット取扱所 ふれあい倉庫、FIKA

▼主催・問合せ 坂本 (☎ 090 - 2873 - 3794)

ナツメロ発表会

▼日時 6月19日(日) 13時～17時

▼内容 カラオケの発表会です。

▼問合せ 佐々木 (☎ 090 - 9082 - 4303)

【多目的ホール】

大澤勉 水彩画展

▼日時 6月7日(火)～17日(金) 10時～18時
最終日のみ16時30分まで

▼内容 町内在住の三人による水彩画展

▼主催・問合せ 碓井 (☎ 26 - 2032)

堀内進 油彩展

▼日時 6月22日(火)～26日(日)
9時30分～17時

▼内容 油彩の素晴らしさをお伝えします。

▼主催・問合せ 堀内 (☎ 23 - 3597)

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔6月の展示会〕

豊かに過ごす夏至のひととき

▼展示期間 6月1日(水)～20日(月)

▼内容 夏至祭を写真で紹介します。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

FIKA (☎ 27 - 5388) 商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成23年5月15日(日)

今日は「石狩川エンデュランス馬術大会」と言う催しがあった。

“エンデュランス”と言う競技は聞き馴れない人が多いと思うが、馬の長距離走行競技の事である。

当別町では3回目でスウェーデンヒルズ町内会の方々が中心で実行委員会をつくって当別町や札幌市、北海道、開発局等の他に沢山の後援があって、弁華別のハレルヤ農産を発着地としてゴルフ場の周辺の伊達山林道や当別川沿道を20kmから80kmまでの4コース別に競技が行なわれた。

コースの高い地点から当別町南東の夕張岳方向の景観は、スウェーデンヒルズから見る札幌方向の風景とは違って田園空間が広大でとても素晴らしい。

今回のコース設定は本州から参加された12頭の騎乗者だけでなく、道内の9頭の騎乗者も大変喜んでくれた。

競技に出場したのは21頭の馬と騎乗者だが、その馬に付いて来たスタッフや獣医師団やコース監視委員などを含め、大会運営委員会の人々は随分沢山いたので大きな催しだった。

なんと言っても、この競技の良さはスピードや高さ、華麗さを競うものではなく、馬を「生き物」として尊重し、馬の健康状態が最優先され、ゴールの際、獣医師による心拍数や足筋の検査が義務付けられ合格となった馬のうち、早くゴールした馬が優勝という楽しむレースなので老若男女、初心者でも参加出来るらしい。

今回は中学1年女子から73歳の男性まで、全国から心豊かな人が21名参加していた。

会場で直木賞作家の村山由佳さんは40kmを完走した後、サイン会で“楽園は馬の背にあり”と色紙に書かれて、お礼金の全てを大崎市の復興支援にと言って“ポン”と全額差し出して下さった時、私は今日、北の大地を走った馬たちが、同じように東北で飼い主に愛されていたのに原発の影響で処分された罪のない家畜たちの魂を鎮めて欲しいという思いと重なって、お礼の言葉が震えてしまった。

来年のエンデュランス馬術大会が益々盛大である事を心から祈らずにはおられない。

当別町長 泉 幸彦